

平成30年度

社会福祉法人野木町社会福祉協議会
事業報告書

社会福祉法人野木町社会福祉協議会

平成30年度事業報告目次

1	総括概要	2
2	サービス区分報告	
	＜社会福祉事業＞	
	法人運営事業及び決算額	3
	地域福祉活動事業及び決算額	5
	共同募金配分金事業及び決算額	14
	社会福祉基金事業及び決算額	17
	資金貸付事業及び決算額	18
	生活福祉資金貸付事業及び決算額	18
	地域福祉ネットワーク事業及び決算額	19
	外出支援サービス事業及び決算額	20
	配食サービス事業及び決算額	20
	居宅介護支援事業及び決算額	21
	居宅介護等事業及び決算額	21
	障害福祉サービス事業及び決算額	22
	指定管理事業及び決算額	22
	＜公益事業＞	
	地域包括支援センター事業及び決算額	24
	デマンド交通運営事業及び決算額	26
	＜その他＞	
	日本赤十字社活動と共同募金活動	26
	その他の支援活動	27

平成30年度 事業報告

【総括概要】

平成28年度に町と相互に地域福祉の推進を図るため一体的に策定した『野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画』については、町、町社会福祉協議会及び町民の協働により計画を推進するため、推進委員会を開催しました。それぞれの事業の進捗状況の把握、計画の評価、見直し等における様々な意見をもとに今後もそれぞれの役割を進めてまいります。

また、平成30年2月開始の住民参加型在宅福祉サービス事業「ふれあいサービス」においては、暮らしの中で困りごとのある人（利用会員）とお手伝いができる人（協力会員）が会員となる町民の参加と協力による相互扶助活動で、公的サービスでは補えないニーズについてサービスの拡充を図りました。それぞれの登録会員数や活動実績も増えつつあり、今後もお互いさまの気持ちで支え合う地域づくりを目指してまいります。

生活困窮者自立支援事業においては、失業や経済的困窮、住居確保などの困りごとを抱えている方に対して、町に配置されている生活困窮者自立相談支援員と連携を図りながら、相談体制を整え、資金の貸付のみならず相談から見出される世帯の様々な生活課題等に対応すべく、権利擁護事業機関等とも連携し、継続的な支援に取り組みました。

災害に対する備えにおいては、地域の人々の防災・減災に関する知識・意識・技術の向上を図ることを目的に町ボランティア支援センターと協働し、日本赤十字社の防災セミナーのプログラムである災害ボランティア講座を開催しました。今後も災害ボランティアセンターの体制や運営基盤づくりの環境を整えていきます。

介護保険事業においては、経営理念のもと効果的・効率的な事業運営に努め、利用者や家族、関係者と協働のもと、相談や支援につながる取り組みや利用者本位の良質な介護サービスの提供に努めました。また、地域包括支援センター運営事業においては、平成30年10月より町総合サポートセンター（ひまわり館）内を本センター、町老人福祉センター（ホープ館）内をサポートセンターとする2ヶ所での運営を開始、それぞれの地域における高齢者の総合相談事業に加え、介護予防・日常生活支援総合事業（新総合事業）において、要支援者向けの介護予防サービスや介護保険の認定を受けていなくても、一人ひとりの生活に合わせた柔軟なサービスを提供しました。その他、在宅医療・介護連携による地域ケア会議への参加や、認知症問題に対応すべく、町の認知症カフェ開設協力や認知症初期集中支援チーム員の一員として関係機関と連携しながら適切なサービス提供へ繋がるよう積極的に支援してきました。

今後も、誰もが安心して住みなれた地域で暮らしていける地域共生社会を目指し、公的サービスのみならず、インフォーマルサービスの充実をすすめるとともに行政や各関係機関、団体等と連携・協働し各種活動を行なってまいります。

■法人運営事業及び決算額

【62,426千円[43,702千円】

1 事業の概要

社会福祉法人野木町社会福祉協議会の事業全体の管理、総合的・計画的な事業執行を行うための組織として、各係（担当部署）の連絡・調整を図り、適正な法人運営を推進した。

また、社会福祉法改正により、経営組織のガバナンスの強化、事業透明性の向上、財務規律の強化と財政の健全化に努めた。

2 主要な施策

(1) 理事会・評議員会・監査会

理事会・評議員会・監査会の開催により、法人の適正な運営と効果的な事業の実施をすすめた。また、理事会・評議員会を通じて関係機関との連絡調整を図り、社会福祉協議会が地域福祉を推進する団体として継続的かつ安定的に地域福祉を展開していくための法人組織基盤の強化を図った。

①理事会の開催（業務執行の決定）

第1回理事会（平成30年5月25日開催）		出席者：理事7名、監事2名
報告	第1号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会長専決処分事項の報告について
議案	第1号	平成29年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会決算（事業報告等、計算関係書類、財産目録）について
	第2号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会役員（理事）の一部選任について
	第3号	平成30年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会定時評議員会の開催について
	第4号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について
	第5号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会評議員の候補者の推薦について

第2回理事会（平成30年10月4日開催）		出席者：理事9名、監事2名
議案	第1号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会長表彰並びに感謝状贈呈者の選考について
報告	第1号	会長の職務の執行状況の報告について
報告	第2号	ふくしのつどいのぎ2018の開催について

第3回理事会（平成31年3月20日開催）		出席者：理事8名、監事2名
報告	第1号	野木町社会福祉協議会長専決処分事項の報告について
	第2号	野木町社会福祉協議会長の職務の執行状況の報告について
議案	第1号	平成30年度野木町社会福祉協議会会計補正予算について
	第2号	平成31年度(2019年度)野木町社会福祉協議会事業計画について
	第3号	平成31年度(2019年度)野木町社会福祉協議会会計収支予算について
	第4号	平成30年度第2回野木町社会福祉協議会評議員会の開催について

②評議員会の開催（予算及び事業計画の承認、計算書類及び事業報告の承認他）

第1回評議員会（平成30年6月12日開催）		出席者：評議員16名、監事2名
報告	第1号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会長専決処分事項の報告について
議案	第1号	平成29年度社会福祉法人野木町社会福祉協議会決算（事業報告等、計算関係書類、財産目録）について
	第2号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会役員（理事）の一部選任について
	第3号	社会福祉法人野木町社会福祉協議会役員等報酬支給基準について

第2回評議員会（平成31年3月28日開催）		出席者：評議員20名
報告	第1号	野木町社会福祉協議会長専決処分事項の報告について
議案	第1号	平成30年度野木町社会福祉協議会会計補正予算について
	第2号	平成31年度（2019年度）野木町社会福祉協議会事業計画について
	第3号	平成31年度（2019年度）野木町社会福祉協議会会計収支予算について

③監査会の開催（事業報告、業務及び財産の状況に係る監査）

監査会（平成30年5月16日開催）		出席者：監事2名
内容	平成29年度事業報告等、計算関係書類及び財産目録の監査	

④評議員選任・解任委員会の開催（評議員の選任）

第1回評議員選任・解任委員会（平成30年6月12日開催）		出席者：委員4名
議事	社会福祉法人野木町社会福祉協議会評議員の選任について	

(2) 会員増強の強化（7月）

社会福祉協議会活動の趣旨などを周知するとともに会員加入促進を図った。

町社会福祉協議会会員募集実績（募集月間7月）

会員内訳	会員数（世帯・事業所）			金額（円）		
	H28実績	H29実績	H30実績	H28実績	H29実績	H30実績
特別会員	45	41	27	54,000	46,000	31,000
普通会员	6,288	6,162	6,070	3,144,000	3,081,000	3,035,100
寄付	423	482	484	125,670	138,521	144,905
賛助会員	41	42	33	215,000	209,000	170,000
合計	6,797	6,727	6,614	3,538,670	3,474,521	3,381,005

(3) 福祉サービスの運営適正

野木町社会福祉協議会における苦情解決に関する規程に基づき、利用者からの苦情に適切に対応し、利用者が安心してサービスを利用できるよう、運営事業ごとに苦情解決担当者を配置するとともに、第三者委員を委嘱し、その権利を擁護した。

第三者委員構成	人権擁護委員1・民生委員児童委員1・保健師1
苦情受付数	0件

(4) 法人成年後見事業の施行実施に向けた調査・研修

野木町社会福祉協議会が法人後見人として後見業務を行う体制を確立するため、法人後見業務をサポートする支援員養成研修に参加した。また、申立に必要な書類の取得など申立の支援を行った。

開催日	内 容		場 所
6月25日	基礎研修	権利擁護概論と成年後見制度(1)(2)	宇都宮市
7月9日		社会福祉協議会概論と各論。知的障がいと精神障がいについて	
7月24日		高次脳機能障がいと発達障がいについて 障害者福祉の動向（障害者総合支援法、障害者差別解消法、障害者虐待防止法）について	
7月31日		認知症高齢者についてと老人福祉論について	
8月6日		地域包括支援センターの役割と高齢者虐待防止法と栃木県の取組み 介護保険制度の仕組みとサービスについて	
8月30日		社会福祉総論（社会保障制度の仕組み・生活保護制度について	
9月7日	実務研修	社会福祉援助技術～日常生活自立支援事業を活用とした社会福祉援助技法（対人援助）	
9月19日		後見業務の実務概論	

(5) 事務局活動

法人事務局として必要な人事・財務管理等を行った。

(6) 事業運営の透明性の向上

社会福祉法人の財務諸表等電子開示システムの公表を行った。

(7) 財政基盤の強化

地域福祉推進の事業費となる社協会費、共同募金、寄付金の拡大、また、介護サービス事業等については、経営理念のもと効果的、効率的かつ適切で安定した事業運営に努めた。

■地域福祉活動事業及び決算額

【1,576千円[1,909千円]】

1 事業の概要

地域住民の福祉の向上や障がいへの理解を進めるとともにボランティア活動への関心を高め、ボランティア活動の育成・援助を行った。また、判断能力が不十分な高齢者や障がいの方が地域において自立した生活が送れるよう、利用者との契約に基づき、福祉サービスの利用援助等の支援を行った。

2 主要な施策

(1) 地域福祉計画・地域福祉活動計画事業の進捗管理

平成28年度策定した『野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画』において、行政、社会福祉協議会及び町民との協働により計画を推進するため、松原区の見守りマップづくりや新橋区の高齢化対策検討会等に参加するとともに、野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会を開催し、計画の進捗状況の把握と評価のため意見交換を行った。

開催日	内 容	出席者数(名)
2月19日	野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画概要の説明 野木町地域福祉計画・地域福祉活動計画の進捗状況と今後の取組について意見交換	8

(2) 災害ボランティアセンター設置・運営に係る整備の実施

災害ボランティアとして必要な知識等を学び、住民の災害に対する意識向上を目指すことを目的に、町ボランティア支援センターと協働し、社会福祉協議会職員や関係機関、団体の参加により、災害ボランティア講座を開催した。

また、職員が災害発生時に迅速に行動し、法人の機能低下を最小限にするとともに事業の早期再開を目指すBCP(事業継続計画)マニュアル作りの研修会に参加した。

開催日	内 容	出席者数(名)
9月12日	①災害エスノグラフィー (阪神・淡路大震災の被災者の体験談を通じて過去の災害を体験し、被災した状況を具体的にイメージすることで、災害時に必要な活動等を学ぶ。) ②応急手当 身近なものをを用いた応急手当の方法を体験	27

(3) 社会福祉等のボランティア活動支援

①ボランティア関係機関との連携と活動基盤整備

町が設置するボランティア支援センター「きらり館」との連携を図るとともに、社会福祉関係等のボランティア活動がより円滑にかつ効果的に進行されるよう支援した。また、ボランティア活動を安心して行うことができるよう、個人や団体等の活動内容に沿った保険加入を促進し、加入の事務手続きを行った。今後も、安心してボランティア活動に参加・活動ができる環境整備と情報提供の推進に努める。

ボランティア保険種別	加入件数 (件)			加入者数 (名)		
	H28 実績	H29 実績	H30 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績
ボランティア活動保険	18	10	20	906	899	925
ボランティア行事用保険	29	22	21	3,171	8,936	1,193
福祉サービス総合補償	4	5	5	57	73	81

送迎サービス補償	3	3	2	9	8	9
ふれあいサロン傷害補償	1	0	0	4,080	0	0
合 計	55	40	48	8,223	9,916	2,208

※ボランティア活動中の事故報告

事故報告件数（件）	H28 実績	H29 実績	H30 実績
	0	3	2

（整備機材一覧）

資機材名	資機材名	資機材名
ロッカー	録音機	高齢者擬似体験装着具
パソコン	録音（集積）マイク	アイマスク体験具
点字板	ダビング機	車いす
点字プリンター	スピーチオ（活字文書読上装置）	段差解消スロープ
MD/CD ラジカセ	デイジー（CD 読み取り機）	プロジェクター・スクリーン

②社会福祉等ボランティア活動の推進と担い手の育成

社会福祉関係等のボランティア団体（サークル）・個人により構成された連絡協議会の事務局を担当し、各種活動の支援と助成を行った。また、視覚、聴覚障がい者の理解と支援のための必要な専門的技術を取得するために、団塊の世代や若い世代を中心に各種技術講座を開催した。

開催日	内 容	参加者数(名)
4月14日	全体会・全体研修会 ①全体会 ・平成29年度活動報告について（1年間のうごき） ・平成30年度事業計画について ・新役員（会長・副会長）の承認と委員の紹介について ②全体研修会 『聴導犬講演会』 講師：公益社団法人日本聴導犬推進協会 神嶋千晶氏、遠藤享氏、PR犬さやちゃん	59
9月6日	委員視察研修会 ・群馬県食品安全検査センター他	9
10月27日	ボランティア交流会 ①講演 『笑いヨガ～笑いの力は素晴らしい～』 講師：高岩 初枝氏 ②食事会	72
定例会の開催（第2木曜日／年7回開催） 各ボランティア団体の代表者及び個人ボランティアから構成（委員18名）され全体会・全体研修会、委員視察研修会等について意見交換を行った。		



社会福祉ボランティア連絡協議会の会員数（毎年・毎年度3月31日現在）

	H28 実績	H29 実績	H30 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績
団体数（団体）・（名）	15	14	14	183	149	148
個人ボランティア数（名）				76	67	69

（ボランティア団体）

No.	名称	活動内容	会員数 （名）
1	ともしびの会	ひとり暮らし高齢者宅へ弁当を届け友愛訪問（毎月1回）、食事会、お楽しみ会	4
2	手話サークル「虹の会」	聴覚障がい者との交流活動、手話学習、各種福祉関係事業（小中学校手話体験、講演等含）への参加協力	23
3	手話サークル「野和の会」	聴覚障がい者との交流活動、手話学習、各種福祉関係事業（小中学校体験含）への参加協力	9
4	朗読の会「のぎく」	町広報・社協情報誌、お知らせ版他を録音し、視覚障がい者に届ける活動、朗読の学習、福祉関係事業（小中学校体験支援含）への参加協力、施設での読み聞かせ活動	13
5	点友会「のぎ」	視覚障がい者との交流、点訳による情報提供活動、点訳学習、各種福祉関係事業（小中学校点字体験含）への協力	7
6	シルバー大OB会 野木支部	各種福祉関係事業への参加協力・研修	
7	太極拳「雲手」	各種福祉関係事業への参加協力、高齢者施設での交流活動	17
8	野木ニューモラルクラブ	高齢者福祉施設での奉仕活動、交流、各種福祉関係事業への協力	10
9	五家英子とみんなで楽しく踊ろう会 野木ひまわり	福祉施設でのよさこい交流活動、町、各種福祉関係事業への参加協力	12

10	のぎコスモス		18
11	YOSAKOI 桜		23
12	のぎ町童謡愛好会	地域福祉施設等で童謡を通じて交流活動	
13	傾聴野木	高齢者施設や在宅ひとり暮らし高齢者の方への傾聴活動	14
14	のぎまちづくりネットワーク	町民の皆様と一緒に協力し、協働のまちづくりを進める活動	8

(ボランティア団体以外の活動一覧)

No.	名 称	活動内容	会員数 (名)
1	配食ボランティア活動	社協事業「配食サービス」を支援し、ひとり暮らしの高齢者宅等に昼食のお弁当を届け、交流を図る活動	46
2	収集ボランティア活動	使用済資源（古切手、プリペイドカード、書き損じハガキなど）を収集整理して関係機関に送付し、発展途上国の福祉に役立つよう活動	
3	送迎ボランティア活動	自力での通学が困難な生徒を自家用車で登下校の送迎をする活動	5
4	施設でのボランティア活動	町内高齢者・障がい者福祉施設・介護施設などで趣味活動支援や話し相手などの活動しながら交流を図る活動	
5	事業協力活動 HD体験学習支援活動	福祉事業への協力や町内小中学校やサマースクールでのハンディキャップ体験指導などで活動	14

・福祉講座

講師 加瀬 明美氏

講座名	開催日	内 容	受講者数 (名)
手話講座 「初心者向け」	9月29日	聞こえていますか？あなたの耳 日常の動き等を伝え合ってみよう	3
	10月6日	自己紹介をしよう 名前の表現、手話と指文字	3
	10月13日	家族紹介をしよう 誕生日、数字の表わし方	2

講師 朗読の会「のぎく」

講座名	開催日	内 容	受講者数 (名)
朗読講座 「初心者向け」	10月10日	朗読のための呼吸法、発声・発音	3
	10月17日	声に出して読んでみよう	4
	10月24日	紙芝居、絵本の読み方	2
	10月31日	表現力をつけよう	4
	11月14日	伝わる読み方（情報を読もう）	4

・傾聴ボランティア養成講座

講師 栃木県傾聴ボランティア連絡協議会 会長 黒川 貢氏

開催日	内 容	受講者数(名)
10月17日	傾聴のスキル その1	13
10月24日	傾聴のスキル その2	13
10月31日	傾聴のスキル その3	12



③児童生徒の福祉教育活動推進

学校における福祉教育・ボランティア学習の推進を図るため、町内の小中学校7校を「学童・生徒のボランティア活動普及事業」協力校に指定し、協働による福祉体験学習を推進した。また、次世代を担う学童・生徒に対し、福祉・ボランティア活動への理解や関心を深めていく取り組みとして、町内の各小中学校生徒を対象に、町内関係団体及び施設の協力のもと体験学習や交流活動をはじめとしたボランティア講座を開催した。

・協力校事業

協力（指定）校	野木中学校、野木第二中学校、友沼小学校、野木小学校、佐川野小学校、南赤塚小学校、新橋小学校（全7校）
実施した主な活動内容	空き缶回収／一円募金／エコキャップ回収／車いす体験／学校行事の高齢者招待／文化祭等の福祉活動／高齢者・障がい者福祉施設体験／クリーン活動／ふれあい活動／福祉活動の研究発表会／点字・手話の学習／伝承あそび／その他

・協力校福祉体験講座への参加

小学生チャレンジスクール	友沼小学校	3名
	野木小学校	1名
	南赤塚小学校	10名
	新橋小学校	17名
Oneday ボランティアスクール	野木第二中学校	9名



・協力校事業連絡会議の開催(年3回)

開催日	内 容	出席者数(名)
6月18日	・平成30年度事業計画について ・野木町社会福祉協議会の福祉教育事業について ・各学校における福祉教育の計画について	10
11月12日	・地域福祉新聞について	9
1月28日	・地域福祉新聞(校正)について	11

・地域福祉新聞(小中学生版)の発刊(共同募金配分金事業)

各学校におけるボランティア活動や福祉教育の取り組み等について、地域福祉新聞を発行し、町内全世帯に配布した。

発行日	内 容
2月21日	・各協力校で行われている福祉教育事業やボランティア活動 ・福祉教育に携わるボランティアサークルの方の感想 ・ボランティアサマースクール、小学生チャレンジスクール、Onedayボランティアスクールの紹介

・学校における福祉教育への支援活動

【協力】野木町社会福祉ボランティア連絡協議会

開催日	内 容	場 所
5月30日	ハンディキャップ体験学習支援(4年)	新橋小学校
6月26日	ハンディキャップ体験学習支援(4年)	友沼小学校
6月29日	ハンディキャップ体験学習支援(4年)	佐川野小
9月8日	点字体験学習支援	野木第二中学校
9月20日	手話・点字体験学習支援(4年)	新橋小
10月20日	「文化祭」手話体験学習支援(4年)	友沼小学校
11月1日	ハンディキャップ体験学習支援(4年)	南赤塚小学校
12月5日	ハンディキャップ体験学習支援(4年)	野木小学校
12月10日	手話体験学習支援(4年)	野木小学校
12月11日	点字体験学習支援(4年)	野木小学校
12月19日	朗読体験学習支援(4年)	野木小学校

・ボランティアサマースクールの開催(中学・高校・大学・専門学校生徒)

【協力】手話サークル「虹の会」「野和の会」、朗読の会「のぎく」、点友会「のぎ」、日本聴導犬推進協会 遠藤享氏、神嶋千晶氏
宇都宮市環境学習センター、
NPO法人チャレンジド・コミュニティ 佐々木 清美氏他、
古河ヤクルト販売株式会社 白戸利彦氏他、小澤洋子氏、
竹とんぼの会、野木町社会福祉ボランティア連絡協議会委員

開催日		内 容	受講者数 (名)
1 日 目	7月23日	・ハンディキャップ体験 (車椅子、アイマスク、高齢者擬似) ・福祉講座(手話・朗読・点字の学習)	高校生 2
2 日 目	7月24日	・施設交流活動 社会福祉法人延寿会「特別養護老人ホーム 虹の舎」	高校生 2
3 日 目	7月25日	・施設交流活動 社会福祉法人パステル「セルプ花」	高校生 2
4 日 目	7月27日	・世代間交流 (合同プログラム) 竹細工づくり (器・箸づくり) 流しそうめんとバーベキュー	高校生 2

・小学生チャレンジスクールの開催 (町内在住小学3年～6年生)

開催日		内 容	受講者数 (名)
7月24日		・福祉講座 聴導犬についてのお話 ・ハンディキャップ体験 (車椅子、アイマスク、高齢者擬似)	31
7月25日		・エコキッズクラス！ ～栃木県で一番大きなごみ処理施設を見学～ ・車いすバスケットボール体験 (実技、講話)	31
7月26日		・福祉講座(手話・朗読・点字の学習) ・ヤクルトさんのおなか元気教室 ・ユニバーサルスポーツを体験	31
7月27日		・世代間交流 (合同プログラム) 竹細工づくり (器・箸づくり) 流しそうめんとバーベキュー	31



・Oneday ボランティアスクールの開催 (町内在住中学生)

【協力】宇都宮短期大学・NPO 法人チャレンジド・コミュニティ 佐々木 清美氏

開催日		内 容	受講者数 (名)
8月2日		・宇都宮短期大学見学、体験 ・車いすバスケットボール体験 (実技、講話)	中学生 9



(4) 在宅福祉活動

①福祉機材の貸出

歩行等が困難で車いすを必要とする方の日常生活の便宜を期するため、車いすを貸出した。

貸出件数 (件)	H28 実績	H29 実績	H30 実績
		59	64

②ふれあいサービス（住民参加型在宅福祉サービス）事業

高齢や障がい等により日常生活を営むことに支障のある方に対し、公的サービスでは補えないニーズについて住民相互の支え合いによる会員制の生活支援サービス事業を実施した。

	H29 実績	H30 実績
利用会員数 (名)	12	38
協力会員数 (名)	12	22
活動件数 (件)	6	101

(5) 日常生活自立支援事業（愛称 あすてらす）

認知症高齢者、知的障がい者や精神障がい者などの判断能力が不十分な方に対し、福祉サービス・預金・日常の金銭管理を行い、地域で安心して自立した生活が送れるよう支援した。

【実施したサービス内容】

福祉サービスの利用援助：福祉サービスの利用申込みや契約の代理・代行

日常的な金銭管理サービス：年金等受領、公共料金の支払い、預貯金の出し入れ代理・代行
書類預かりサービス：預金通帳・印鑑・各種証書の預かり

【生活支援員数】 登録者9名（実サービス提供担当者4名）

	H28 実績	H29 実績	H30 実績
利用者実人数 (名)	11	12	13
提供回数 (回)	156	153	165

(6) 緊急食料等給付事業の実施

経済的に困窮し最低限の生活を維持することが困難な世帯に対して、食料等の支援を行い、生活困窮者の自立促進を進めた。



	H29 実績	H30 実績
件数 (件)	9	4

(7) 福祉団体活動支援・協力

団体名	主な事務・事業支援内容
野木町老人クラブ連合会	スポーツ、レクリエーション、教養活動、社会奉仕活動等を通しての健康づくりや生きがいがいづくりの場の推進を支援した。
野木町社会福祉ボランティア連絡協議会 (団体・個人含)	活動者相互の交流や情報交換の場の提供やふくしのつどいなどの啓発事業の開催を通してボランティア活動推進の支援に努めた。
野木町赤十字奉仕団	災害時の炊き出し訓練、救急法の習得、高齢者等支援のための健康生活支援講習の普及など、地域における奉仕活動の推進を図る活動を支援した。

(8) その他

行路援護者に対し、交通費の援助を行った。

	H28 実績	H29 実績	H30 実績
件数 (件)	3	10	4

■共同募金配分金事業及び決算額

【1,582 千円 [1,853 千円]】

1 事業の概要

赤い羽根共同募金からの配分金を活用し、社会福祉活動の理解と関心を高めるため、ふくしのつどいの開催や広報啓発活動（情報誌やホームページの活用）を推進し、活動の紹介や情報を提供した。

2 主要な施策

(1) 広報・啓発活動

多年にわたり社会福祉事業の発展及び社会福祉協議会の運営に貢献、功績のあった方々に対する福祉功労表彰や福祉に対する理解と住民参加活動（ボランティア活動）の普及、情報交換、学習の場づくりを目的にふくしのつどいを開催した。また、社協

情報誌『ぽけっと』・地域福祉新聞（小中学生版）の発行やホームページの維持管理など広報活動を行い、事業のPRとネットワークの構築を図った。

・ふくしのつどいの開催

開催日	内容	来場者数(名)	場所
11月4日	◎式典 (表彰者) ・民生委員児童委員及び主任児童委員 3名 ・社会福祉団体及び社会福祉施設等 1名 ・社会福祉事業協力者等 3名 (感謝状) 8団体 ◎講演会 『命の輝き～車いすから見える世界ってけっこう素敵～』 【講師】 又野 亜希子氏	163	野木町文化会館 (野木エニスホール)

・社協情報誌『ぽけっと』…年4回(4月・6月・10月・1月)発刊

号数	発行日	内容
117号	4月26日	平成30年度事業計画・予算、赤十字運動のお知らせ、各種ボランティア養成講座予定、ボランティア募集のお知らせ、野木町地域福祉計画、地域福祉活動計画について、平成30年度ホープ館講座のお知らせ、デマンド『キラ輪号』について、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、第1回ひとりぐらし高齢者の交流会のお知らせ、善意の寄付他
118号	6月21日	平成29年度事業・決算報告、ボランティア全体会・全体研修会の報告、ひまわりカフェのお知らせ、野木町地域福祉計画、地域福祉活動計画について、傾聴入門講座の受講者募集、福祉講座の受講者募集、ボランティア募集のお知らせ、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、ボランティアサマースクール・小学生チャレンジスクール参加者募集、善意の寄付他
119号	10月24日	平成30年度社協会員・日赤会員実績報告、野木町地域包括支援センターについて、ボランティアサマースクール・小学生チャレンジスクール実施報告、ふれあいサービス事業紹介、ボランティア募集、ひまわりカフェのお知らせ、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、善意の寄付他
120号	1月24日	ふくしのつどいのぎ2018実施報告、平成30年7月豪雨災害支援派遣レポート、ひまわりカフェのお知らせ、ホープ館のご案内、平成30年度赤い羽根共同募金実績報告、教育支援資金貸付制度のご案内、ふれあい福祉総合相談のお知らせ、第2回ひとりぐらし高齢者の交流会の案内、高齢者介護相談会のお知らせ、善意の寄付他

・地域福祉新聞…年1回(2月)発刊

発行日	学校名等	記事内容
2月21日	友沼小学校	・アイマスク体験 ・車いす体験 ・高齢者擬似体験 ・手話体験
	野木小学校	・手話体験 ・点字体験 ・朗読体験 ・ハンディキャップ体験 ・野木小っ子祭り
	佐川野小学校	・認知症サポーター養成講座 ・総合的な学習（車いす体験、高齢者擬似体験、アイマスク体験） ・佐川野っ子祭り 絵手紙作り、竹とんぼ作り、テープ細工作り
	南赤塚小学校	・総合的な学習の時間（ハンディキャップ体験、手話体験、点字体験） ・人権集会 ・小学生チャレンジスクール
	新橋小学校	・町小中合同クリーン活動 ・生活科「昔のあそび」・社会科「昔のくらし」 ・総合「心のバリアフリー」「クラブ活動」
	野木中学校	・古紙・アルミ缶回収 ・虹の舎の七夕飾りのお手伝い ・潤心祭（和太鼓講座、ダンス講座）
	野木第二中学校	・ひまわり荘訪問 ・Oneday ボランティアスクール ・輝光祭高齢者擬似体験 ・輝光祭ひまわり荘接待
		・手話サークル「野和の会」、点友会「のぎ」、朗読の会「のぎく」 ・ボランティアサマースクール、小学生チャレンジスクール、Oneday ボランティアスクールの紹介

・ホームページ…年間公開

アクセス件数（件）	H28 実績	H29 実績	H30 実績
	2,362	2,378	2,303

(2) 高齢者の社会参加

町内在住65歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象に交流会（年2回）を開催し、当事者・民生委員児童委員・ボランティア等との互いの交流を通して孤独の緩和化を図るとともに生きがいづくりをすすめた。

開催日	場所	参加者数・内容等
5月29日	史跡足利学校 あしかがフラワーパーク	50名、 協力（町民生委員児童委員5名）
2月7日	野木町老人福祉センター （ホープ館）	63名、協力（ボランティア4名） ・「歌と人形劇」ふしぎなぼけっと ・「歌って！笑って！人生125歳！」 五家英子氏、五家英子と楽しく踊ろう会野木支部



(3) 世代間交流事業

児童と地域の高齢者が季節行事やレクリエーションを通しての交流（年2回）を行った。

開催日	内容	参加者	場所
10月24日	高齢者・園児との お楽しみ交流事業	野木幼稚園児 老人クラブ会員 20名	野木幼稚園
2月7日	高齢者・園児との お楽しみ交流事業	野木幼稚園児 老人クラブ会員 20名	野木幼稚園

(4) 児童・生徒の福祉教育活動支援助成

学校における福祉教育・ボランティア学習の推進を図るため、町内の小中学校7校に支援・助成を行った。

■社会福祉基金事業及び決算額

【741千円[825千円]】

1 事業の概要

町民、事業所等からの寄付金を社会福祉の振興に充てるため「社会福祉基金」を設置し、積み立てた。

・善意の寄付受入について(基金指定)

預託内容	H28 実績	H29 実績	H30 実績
寄付件数 (件)	23	16	16
寄付金額 (円)	626,097	717,444	735,828

■資金貸付事業及び決算額

【198 千円 [540 千円]】

1 事業の概要

低所得者及び生活困窮者に対し、必要な小口の資金の貸付を行い、家庭の経済的自立と生活意欲の向上を図り、安定した生活ができるよう支援した。また、貸付相談から見出された世帯の様々な生活課題等に対応すべく、各関係機関と連携し、支援を行った。

	H28 実績	H29 実績	H30 実績
貸付件数 (件)	31	60	47
償還件数 (件)	64	83	48

資金の種類・貸付件数 (件)	H28 実績	H29 実績	H30 実績
生活一時資金	30	57	47
医療・介護一時資金	0	0	0
家屋修理一時資金	0	0	0
就学一時資金	0	0	0
その他の一時資金	1	3	0
合計	31	60	47

■生活福祉資金貸付事業及び決算額

【86 千円 [94 千円]】

1 事業の概要

栃木県社会福祉協議会より受託し、民生委員児童委員との連携のもと、低所得者世帯や障がい者世帯、高齢者世帯等を対象に資金の貸付事務や相談支援を行い、その世帯の経済的自立や生活意欲の助長促進を図った。

	H28 実績	H29 実績	H30 実績
相談件数 (件)	17	10	17

資金の種類・貸付件数 (件)	H28 実績	H29 実績	H30 実績
総合支援資金	0	0	0
福祉資金 (福祉費)	1	0	0
福祉資金 (緊急小口資金)	0	0	0
教育支援資金	0	0	0
臨時特例つなぎ資金	0	0	0
合計	1	0	0

■地域福祉ネットワーク事業及び決算額

【9,574千円 [9,054千円]】

1 事業の概要

地域におけるボランティア活動などの住民の福祉活動への支援や地域住民が相互に協力し、要援護者に対して支援を行うためのネットワークづくりなど多種多様な福祉ニーズに対しての支援を行った。

2 主要な施策

(1) ふれあい福祉総合相談

住民の日常生活の各種相談に応じるとともに、相談を通じて見出された課題に対して、ニーズに即したサービスの提供や関係機関との連携による対応を行い、適切な助言、援助等を行って地域住民の福祉の増進を図った。

相談種別	開設曜日・時間	相談員	相談内容
心配ごと相談	毎月第1・3水曜日 10:00-12:00	民生委員児童委員 保護司・人権擁護委員	日頃の悩みごとなど 日常生活に関する相談
法律（弁護士）相談	毎月第3木曜日 10:00-12:00	弁護士	財産・扶養・土地・金 銭貸借・賠償・離婚等 の問題に関する相談
介護相談	月～金曜日 8:30-5:15	介護関係職員	介護や介護保険（サー ビス）等に関する相談
ボランティア相談	月～金曜日 8:30-5:15	社協職員	ボランティア保険や社 会福祉支援活動等に関 する相談
生活資金・地域福祉 権利擁護相談	月～金曜日 8:30-5:15	社協職員	生活資金や日常金銭管 理に関する相談

【心配ごと相談】	H28 実績	H29 実績	H30 実績
開所回数（回）	23	21	23
来談件数（件）	6	4	8

【法律相談】	H28 実績	H29 実績	H30 実績
開所回数（回）	6	6	12
来談件数（件）	24	25	48

【介護・高齢者相談】	H28 実績	H29 実績	H30 実績
総合相談件数（件）	193	239	241

・相談員研修会の開催について

町心配ごと相談員研修会

開催日	内 容	参加者数(名)
2月12日	「相談面接におけるポイントと記録の方法について」 講師 NPO法人風の詩 理事長 永島 徹 氏	8

■外出支援サービス事業及び決算額

【264 千円 [295 千円]】

1 事業の概要

町内に居住し65歳以上で肢体不自由により車いすを常時使用している高齢者で、一般の交通機関を利用することが困難な方に、リフト付車両により居宅と社会福祉施設又は医療機関等の間の送迎を行った。

	H28 実績	H29 実績	H30 実績
利用者実人数 (名)	13	15	17
移送回数 (回)	76	75	64

■配食サービス事業及び決算額

【1,313 千円 [1,314 千円]】

1 事業の概要

町内に居住する65歳以上のひとり暮らしの者又は高齢者のみの世帯であって、老衰、心身の障がい又は疾病等の理由により調理が困難な方に対し、お弁当の宅配(毎月4回 金曜日)を行うことで、安否の確認と日常生活の身体的・精神的負担の軽減と健康維持を図った。

【配食方法】 配食ボランティアの協力により弁当を宅配、安否確認を行う。

【配食回数】 毎金曜日 月4回(昼食弁当)

【配食協力者(ボランティア)人数】 43名

	H28 実績	H29 実績	H30 実績
利用者実人数 (名)	61	51	57
配食数 (食)	1,981	1,814	1,812

■居宅介護支援事業及び決算額

【23,298千円 [18,288千円]】

1 事業の概要

介護保険制度における指定居宅介護支援事業所として、高齢者が住み慣れた地域で暮らしていくために要介護認定を受けた人のケアプランを作成した。また、町及び地域包括支援センターとの連携を密にし、信頼性の高い事業所を目指すとともに関係各所から総合的に提供されるよう連絡調整を図りながら、要介護者の自立した在宅生活を支援した。

【介護支援専門員数】 3名

居宅サービス計画 (ケアプラン) 作成	H28 実績	H29 実績	H30 実績
作成件数 (件)	990	1,019	1,075
要介護認定調査	H28 実績	H29 実績	H30 実績
調査件数 (件)	2	2	1

■居宅介護等事業及び決算額

【22,604千円 [19,049千円]】

1 事業の概要

指定訪問介護事業所として、在宅の要介護者に対し、ホームヘルパーを派遣し、入浴・排泄・食事等の介護や調理・洗濯・掃除等の家事、生活等に関する相談及び助言等を行い、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、在宅生活を支援した。また、在宅の要支援者に対しては、本人の能力を生かし、自立度をあげる予防訪問介護を行った。

【訪問介護員数】 6名

訪問介護サービス提供 (介護)	H28 実績	H29 実績	H30 実績
利用者実人数 (名)	20	21	18
提供回数 (回)	2,239	2,024	1,639
訪問介護サービス提供 (予防)	H28 実績	H29 実績	H30 実績
利用者実人数 (名)	13	15	11
提供回数 (回)	579	424	777
訪問介護サービス提供 (自費)	H28 実績	H29 実績	H30 実績
利用者実人数 (名)	3	3	4
提供回数 (回)	9	4	9

・生活支援事業 (訪問介護)

介護保険制度における要介護認定で「自立」と認定され、町が生活援助サービスを必要と認めた方に対し、訪問介護員を派遣し、家事等の援助サービスを実施した。

	H28 実績	H29 実績	H30 実績
利用者実人数（名）	2	2	1
提供回数（回）	93	80	48

■障害福祉サービス事業及び決算額

【615 千円 [500 千円]】

1 事業の概要

障害者総合支援法制度における居宅サービス事業所として、日常生活に支障のある障がい者が地域で自立して生活できるようホームヘルパーを派遣し、排泄・食事・入浴等の身体介護や掃除、洗濯、調理等の家事援助等を提供し日常生活を支援した。

	H28 実績	H29 実績	H30 実績
利用者実人数（名）	1	5	4
提供回数（回）	19	190	279

■指定管理事業及び決算額

【21,197 千円 [41,526 千円]】

1 事業の概要

指定管理者として、施設の目的や特性・業務内容・運営等を踏まえ、高齢者の福祉を増進する事業の展開とより効果的・効率的かつ施設の機能を最大限に発揮できる施設の管理運営に努めた。

2 主要な施策

(1) 野木町老人福祉センターの管理運営

コミュニケーションを多くとることができ、楽しみを増やせる生きがいづくりの場として、高齢者の社会参加活動の促進を図った。また、施設整備や防災等安全確保に十分配慮し、利用者が安全・安心に利用できる環境づくりに努めた。

	H28 実績	H29 実績	H30 実績
開所日数（日）	340	343	341
利用者総数（名）	31,483	29,222	27,142

(2) 講座等の開催

町内に在住する60歳以上の方を対象に健康保持・増進と文化教養の向上を図るため各種事業を行った。

・生きがい講座（平成30年6月～平成31年2月）

講座名	開講回数（回）	受講者実人数（名）		
		男	女	計
初心者向けパソコン	34	3	2	5
水彩画&パステル画講座	16	2	14	16
合計	50	5	16	21

・健康体操教室（平成30年6月～平成31年2月）

開講回数（回）	受講者実人数（名）		
	男	女	計
33	0	20	20

・男の健康体操教室（平成30年6月～平成31年2月）

開講回数（回）	受講者実人数（名）		
	男	女	計
17	13		13

(3) 老人ペタンク大会・老人レクリエーション大会の開催

スポーツ・レクリエーション等をとおして高齢者の健康増進と社会参加、互いの交流を図った。

開催日	内容	参加者人数(名)	場所
5月17日	ペタンク	87	丸林中央公園 グラウンド
9月26日	輪投げ グラウンドゴルフ 玉入れ	238	丸林中央公園 グラウンド



(4) 老人福祉センター利用者数等別表による。(P 28 参照)

■地域包括支援センター事業及び決算額

【47,208 千円[38,446 千円]】

1 事業の概要

地域に住む高齢者が住み慣れた地域で、安心して生活が続けられるよう総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援、介護予防ケアマネジメント等の実施や各関係機関との連携強化とネットワークにより、地域で見守る体制作りに努めた。

2 主要な施策

(1) 地域包括支援センターの運営

【専門職員数】 8名

社会福祉士	2名
保健師・看護師	2名
主任介護支援専門員（介護支援専門員含）	4名

①総合相談支援

地域に住む高齢者の様々な相談に対応し、適切な機関・制度・サービスに繋ぐなど継続的に支援する総合的な相談を行った。

	H28 実績	H29 実績	H30 実績
実態把握	21		
総合相談	193	239	241
認知症相談	46	39	35
権利擁護相談	10	14	20
虐待相談	16	11	8
介護認定申請等	53	79	47
福祉用具住宅改修理由書作成	26	22	41
関係機関への連絡・調整等	2,504	2,806	3,131
緊急通報装置、見守りキーホルダー			36
その他	150	31	53
件数（件）	3,105	3,241	3,612

②権利擁護業務

高齢者の虐待防止、成年後見制度活用支援などの権利擁護業務を行ったほか、関係機関の研修に参加し、職員の資質向上を図った。

開催日	内 容	場 所
5月25日	市町行政職員権利擁護研修（第1回）	宇都宮市
7月6日	市町行政職員権利擁護研修（第2回）	
8月10日	権利擁護制度活用研修	
12月10日	高齢者権利擁護等推進事業事例報告会	
1月17日	成年後見制度利用促進研修会	

③包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者に対し、包括的かつ継続的な福祉・介護サービスが提供されるよう地域のネットワークを構築し、社会資源を活用したケアマネジメントを行った。

④指定介護予防支援事業所の運営

介護保険における予防給付の対象となる要支援者が、介護予防サービス等の適切な利用を行うことができるように、介護予防サービス事業者等との連絡・調整を図りプランを作成した。

	H28 実績	H29 実績	H30 実績
作成件数（件）	2,355	2,577	2,870

・介護支援専門員定例ケア会議の開催

開催日	内 容	参加者数（名）
5月17日	講話会「人生の最後をより豊かにするために ～法テラスの仕組みを学び、支援に生かす～」 講師 法テラス栃木 弁護士 鈴木 彩葉 氏	32
8月23日	事例検討会 「若年で脳梗塞発症、支援方法を検討する」 事例提供 ひまわり荘居宅介護支援事業所	17
11月15日	事例検討会 「多重問題を抱える家族への支援」 事例提供 野木町社会福祉協議会	14
2月20日	情報交換会 ・健康福祉課による制度説明、ケアプラン点検 等 ・今年度の事例検討会の振り返り ・その他、連絡事項 等	19

⑤認知症施策の推進支援

町で実施する地域ケア会議、認知症初期集中支援チーム員会議に関係機関と連携しながら適切なサービス提供へ繋がるよう支援した。

認知症カフェ（ひまわりカフェ）を3ヶ月に一度開催。専門職を講師として招き、勉強会や情報交換会を行った。

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業

① 野木町介護予防・日常生活支援総合事業の実施

高齢者を中心とした地域の支え合い（互助）への取り組みに向け、町及び関係機関との連携のもと、町における介護予防・日常生活支援総合事業で要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援をした。

■デマンド交通運営事業及び決算額

【17,775千円[17,450千円]】

1 事業の概要

公共施設、医療機関等への外出が容易にできない町民の交通手段を確保するため、利用者の要求に応じて運行する乗合タクシーの導入を図り、もって町民の交流促進、商業の活性化及び環境に配慮したまちづくりを推進した。

運行エリア（範囲）	野木町全域及び光南病院（小山市）、友愛記念病院（古河市） ※友愛記念病院へは、行きのみ
運行日	月曜日から金曜日 ※土曜日、日曜日、祝日、8月13日～16日、 12月29日～1月3日は運休
運行便	午前8時～午後4時（30分おき運行）
運行台数	3台（セダン車2台、ワゴン車1台）
利用料金	1回（片道） 大人（中学生以上）300円、子供（小学生以下）200円 75歳以上 200円、3歳未満 無料
予約受付日・時間	月曜日から金曜日 午前8時から午後5時 ※土曜日、日曜日、祝日、8月13日～16日、 12月29日～1月3日は除く

(1) デマンドタクシー利用者数等 別表による。（P29参照）

■日本赤十字社活動と共同募金活動

(1) 日本赤十字社栃木県支部野木町分区事務局

- ①日赤会員増強運動の実施（5月）
- ②被災世帯への救援物資の援助（寝具・日用品等）
- ③災害等による被災地への義援金等の受付
- ④日赤県支部事業（救急法講習会等）の実施及び受付事務
- ⑤被災地救援活動の実施・援助

・日赤会員増強運動の実施（5月）

会員内訳	件数（件）			金額（円）		
	H28実績	H29実績	H30実績	H28実績	H29実績	H30実績
会 員	7	8	5	14,000	16,000	10,000
協力会員	6,159	6,750	6,715	3,095,300	3,218,868	3,217,905
寄 付	596			163,873		
合 計	6,762	6,758	6,720	3,273,173	3,234,868	3,227,905

・災害等による被災地への義援金等の受付

	件数 (件)	金額 (円)
東日本大震災義援金	1	50,000
平成 30 年 7 月豪雨災害義援金	6	122,882
平成 30 年北海道胆振東部地震災害義援金	2	4,000

(2) 栃木県共同募金会野木町支会事務局

- ①赤い羽根共同募金運動の実施 (10月)
- ②災害等による被災地への義援金等の受付

・赤い羽根共同募金運動実績 (運動月間10月)

募金種別	協力数			金額 (円)		
	H28 実績	H29 実績	H30 実績	H28 実績	H29 実績	H30 実績
世帯募金	6,742 世帯	6,727 世帯	6,655 世帯	2,653,515	2,640,561	2,620,826
街頭募金	2ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	24,322	15,151	16,134
職域募金	2ヶ所	2ヶ所	2ヶ所	7,829	4,315	7,083
法人募金	27社	26社	23社	141,000	136,000	116,000
設置募金箱	9ヶ所	9ヶ所	8ヶ所	53,782	36,882	3,914
イベント募金	1ヶ所			4,052		
個人募金	1件		1件	5,000		5,000
自販機募金			2台			48,279
利息				132	6	5
合計				2,889,632	2,832,915	2,817,241

・災害義援金送金 (ふくしのつどい)

	金額 (円)
平成 30 年 7 月豪雨災害義援金	37,939

■その他の支援活動 (リサイクル関連)

- ①不要入れ歯等貴金属リサイクルの国際協力支援
- ②ペットボトルキャップの国際協力支援 (ワクチン還元)
- ③使用済み切手収集の国際協力支援

平成30年度 野木町老人福祉センター利用者数及び利用料収入状況報告書(平成30年4月～平成31年3月)

区分 月	開所日数 (日)	利用者総数 (人)	無料者数 (人)	有料者数 (人)	利用料金額 (円)	有料利用者の内訳(人)						1日平均 利用者数 (人)	利用団体数
						町内者			町外者				
						一般	小中学生	内減免者数	一般	小中学生	内減免者数		
H30/4月	28	2,434	2,400	34	1,200	34		28				86	204
5月	28	2,215	2,171	44	900	43		40	1			79	213
6月	30	2,844	2,792	52	800	52		48				94	235
7月	30	2,142	1,999	143	2,800	50	93	129				71	215
8月	30	1,834	1,773	61	0	61		61				61	186
9月	27	2,238	2,151	87	1,200	41	43	78	3		3	82	203
10月	30	2,415	2,372	43	1,900	38		30	5		4	80	216
11月	28	2,066	2,016	50	3,500	45		29	5		4	73	211
12月	26	2,084	1,989	95	800	31	62	89	2		2	80	184
H31/1月	27	2,198	2,179	19	800	16		12	3		3	81	187
2月	27	2,229	2,203	26	800	23		19	3		3	82	202
3月	30	2,443	2,301	142	5,240	51	51	114	14(内12×240 円、団体割引)		2	81	221
合 計	341	27,142	26,346	796	19,940	511	249	677	36	0	21	80	2,477

* 上記有料者数は減免の為免除されている人数を含んでいません。